

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-512443(P2001-512443A)

【公表日】平成13年8月21日(2001.8.21)

【出願番号】特願平10-534966

【国際特許分類第7版】

C 07C 277/08

A 61K 31/047

A 61K 31/198

A 61K 33/00

A 61K 47/10

A 61K 47/48

A 61P 3/02

A 61P 9/10

A 61P 19/02

A 61P 19/10

C 07C 35/16

C 07C 279/14

【F I】

C 07C 277/08

A 61K 31/047

A 61K 31/198

A 61K 33/00

A 61K 47/10

A 61K 47/48

A 61P 3/02

A 61P 9/10

A 61P 19/02

A 61P 19/10

C 07C 35/16

C 07C 279/14

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月4日(2005.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17 年 2 月 4 日

特許庁長官
殿

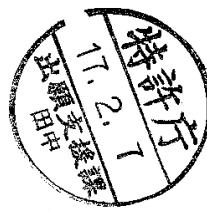
1. 事件の表示



平成 10 年 特許願第 534966 号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人



名 称 ニュートリション 21

3. 代 理 人

居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号
 新 大 手 町 ビ ル デ シ グ 3 3 1
 電 話 (3 2 1 1) 3 6 5 1 (代表)
 氏 名 (6669) 渡 木 寸 告



4. 補正により減少する請求項の数 8

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容 別紙のとおり

方 式 査
佐藤

請求の範囲

1. 次の工程：

- (a) アルギニン、ケイ酸塩及びイノシトールを組合せて懸濁液を生成する工程、
- (b) 懸濁液を加熱してゲル生成を促進する工程、
- (c) ゲルを結晶化させる工程、
- (d) 工程 (c) で生成した結晶をアルコールと混合して結晶化を促進する工程、及び
- (e) 工程 (d) で生成した結晶を捕集する工程

を含む、アルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体を製造する方法。

- 2. ケイ酸塩はケイ酸カリウムである、請求項 1 記載の方法。
- 3. 加熱を約 95 °C で行なう、請求項 1 または 2 記載の方法。
- 4. 結晶を捕集する前に更に工程 (d) を繰り返す、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の方法。
- 5. 結晶を濾過により捕集する、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。
- 6. 工程 (d) のアルコールはエタノールである、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法。
- 7. 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の方法により生成したアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体。
- 8. アルギニン対ケイ酸塩対イノシトールの比率は約 3 : 3 : 1 であるアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体。
- 9. 請求項 7 または請求項 8 に記載のアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体を含むアテローム性動脈硬化症を予防又は抑制するための薬剤。
- 10. 請求項 7 または請求項 8 に記載のアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体を含む食餌療法のアルギニンを補給するための薬剤。
- 11. 請求項 7 または請求項 8 に記載のアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体を含む骨の無機分減少又は軟骨分解を抑制するための薬剤。
- 12. 請求項 7 または請求項 8 に記載のアルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体を含む骨又は軟骨の障害を治療するための薬剤。

13. 骨の障害が骨粗しょう症、骨形成不全症及び骨折よりなる群から選ばれ、軟骨の障害が骨関節炎、炎症性関節炎、腱の引き裂き又は韌帯の引き裂きよりなる群から選ばれる請求項12記載の薬剤。

14. 非経口又は経口的投与用の請求項9-13のいずれか一項に記載の薬剤。

15. アルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体の量が約250mg～約2,500mgである、請求項9-14のいずれか一項に記載の薬剤。

16. アルギニン・ケイ酸塩・イノシトール錯体の量が約500mg～約1,000mgである、請求項15記載の薬剤。

17. 次の成分：

(a) 治療的に有効量の請求項7または請求項8に記載の錯体、及び

(b) そのための医薬的に適合性のある担体又は希釈剤

を含んでなることを特徴とする骨の無機分減少対抗及び軟骨の分解抑制医薬製剤。